

令和2年度 公益財団法人 酒田市美術館 事業報告書

《概要》

公益財団法人酒田市美術館は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、酒田市美術館の管理運営を行い、それを通じて、芸術文化の向上に寄与し、市民の生活に喜びを与えることを目的としている。

この目的を達成するための事業は下記のとおりである。

- (1) 展示事業の実施（特別展示及び一般展示）
- (2) 美術品管理事業の実施（収蔵作品の保存・収蔵庫・展示室の温湿度管理）
- (3) 教育普及活動の実施
- (4) 美術館 PR 事業の実施
- (5) 調査研究事業の実施
- (6) 委託事業の実施（酒田市から委託を受けた酒田市美術館の管理運営）
- (7) サービス提供事業の実施（観光情報の提供、物品販売）
- (8) 施設提供（貸館）事業の実施

市民の憩いの場として親しまれ、愛されるよう令和2年度においても6回の特別企画展の実施を中心に上記の各事業を行って来た。特に特別企画展「高砂淳二写真展」、「歌川広重展」、「オードリー・ヘプバーン展」、「いわさきちひろ展」は入館者がいずれも4,000人を超えて概ね好評を博したが、全体的には世界的なコロナ禍の影響で施設の臨時休館や展覧会の延期なども影響して通年のような入館者数を達成することが非常に困難な年度となり、令和2年度の総入館者数は、30,965人、対前年度比で18,231人の減となった。

このような状況下ではあったが、特別展の変更や延期など三密を避ける工夫、消毒、検温、記名など館内の感染対策を徹底し、安心して入館し鑑賞できる環境づくりに努めた。

コロナ禍の終息は当面難しい状況であり、この社会状況に即した取り組みが今後益々求められると思われる。

長年、据え置いていた観覧料、年間券についても収入確保、受益者負担の考え方により市の条例改正に伴い引き上げしている。

一方で、組織体制の充実、財務体質の強化、様々な時代の要請に対応することを目的とした公益財団法人土門拳記念館との合併についての検討を進め、8月には合併調印を行い、新規学芸員の公募を実施するなど新体制づくりの準備も着実に実施した。

また、アートマルシェ事業の取り組みの一環で中庭を活用したイベントへの協力や、酒田市広報での特集記事への掲載などにより、美術館を内外に発信するPRに努めた。

公益事業

1. 展示事業

展示事業は、収蔵作品による計画的な一般展示と、国内外の優れた美術作品の紹介、及び、子どもにも喜ばれる展示を加味した特別展示の二本立てとして実施した。

(1) 一般展示

収蔵作品の中から、森田茂氏の「風景」「黒川能」など新田嘉一コレクション、酒田市所蔵作品、斎藤長三作品、佐藤昌祐作品、高橋剛作品などを展示した。

(2) 特別展示

① 展覧会名 「生誕 100 年 國領経郎展 -静寂なる砂の景-

会期 3月7日(土)~4月7日(火) 入館者数 1,669人

本展覧会は國領経郎の生誕 100 年の記念すべき年に改めて画業を見つめ直す展覧会として、油彩画、素描、絵手紙等の約 100 点を紹介。國領氏が砂のイメージに託したものは何かを探り、酒田市美術館の収蔵作品の魅力を変えて市民に紹介出来た展覧会となった。

※4月8日(水)~5月17日(日) の期間は新型コロナ感染拡大防止対策による臨時休館により、会期中途での終了となる。

② 展覧会名 「酒田市美術館収蔵品展Ⅰ」 ~生誕 110 年 斎藤長三展~

会期 5月18日(月)~7月12日(日) 入館者数 1,005人

本展覧会は酒田市出身の洋画家、斎藤長三氏の生誕 110 年を記念した展覧会で、酒田市美術館の収蔵作品を一堂で紹介する展覧会となった。長三氏が描いた山村や集落を生涯のテーマとして、描き続けた郷土作家の画業を振り返ることにより、多様な表現と魅力を紹介出来た展覧会であった。

③ 展覧会名 高砂淳二写真展 -Dear Earth-

会期 7月18日(土)~8月30日(日) 入館者数 5,191人

海の中から生き物、風景まで、地球全体をフィールドに撮影活動を行う自然写真家、高砂淳二氏の自然写真を紹介する展覧会を開催した。虹、海、山、空、そして星々とあらゆる地球自然界の魅力を写した写真作品をとおして、自然環境保護の大切さについても伝える展覧会となった。また、コロナ禍の中での開催のため、当館初の試みとして YouTube を利用した作家のギャラリートークを配信して展覧会の PR に務めた。

④展覧会名 「歌川広重展」 -二つの東海道五拾三次-

会期 9月5日(土)~10月18日(日) 入館者数 4,432人

江戸の日本橋から京都の三条大橋まで続いていた東海道、を大胆かつ克明に描き出した歌川広重の「保永堂版」と「丸清版」の浮世絵作品を紹介する展覧会。当時の人々の生活や風景、そして各宿場が醸し出す風情を存分に楽しんで頂ける展覧会となった。会場内には子供たちにも興味を持ってもらえるように、東海道に関する質問コーナーを設けて教育普及活動にも配慮した展覧会となった。

⑤展覧会名 第75回県美展酒田巡回展・第62回こども県展

会期 11月4日(水)~11月9日(月) 「新型コロナ感染拡大防止対策のため中止」

⑥展覧会名 オードリー・ヘプバーン写真展

会期 11月28日(土)~2021年1月22日(金) 入館者数 4,378人

映画「ローマの休日」で世界的に有名となったオードリー・ヘプバーンは、現在も広い年齢層の方々に人気の女優で、当館のアンケートでも開催の希望が挙る展覧会。オードリー展は今回2回目の展覧会で、写真作品をとおして、オードリーの魅力を紹介した。コロナ禍の影響で開催が春から秋冬に延期となったが、多くの観覧者に楽しんで頂ける展覧会となった。

⑦展覧会名 いわさきちひろ ピエゾグラフ展

会期 2021年1月30日(土)~3月14日(日) 入館者数 5,002人

生涯にわたって「子ども」をテーマに描き続けてきた画家いわさきちひろを紹介する展覧会。母親ならではの観察力と卓越したデッサン力で魅力あふれる子どもの姿を描いた作品は、多くの観覧者に「愛と平和」の尊さを感じさせる展覧会となった。展示作品は、ピエゾグラフという精巧な複製技術で再現された複製画を展示してちひろの画業を紹介した。

コロナ禍の影響で、開催が、夏から冬春に延期となった。

一般・特別展示観覧者数 20,851人 (開館以来の観覧者数 1,223,447人)

市民ギャラリー観覧者数 5,682人

喫茶利用者数 4,432人

総入館者数 30,965人

※ホテル宿泊者優待券の発行

※ 喫茶セット券の販売

2. 美術品管理事業

(1) 収蔵作品について、引き続きその状態調査を行い、美術品管理台帳の整備をすすめながら、安全かつ適正な状態で保存するよう努めた。また、傷んだ作品に対する修復作業も次のとおり実施した。

・ 絵画作品修復作業（酒田市予算で実施）

修復作品：佐藤昌祐作「画室の午後」、「鶴原風景」

修復期間：8月18日(火)～8月21日(金)

委託機関：東北芸術工科大学 「文化財保存修復研究センター」

修復者：米田 奈美子 氏

修復内容：絵画層の亀裂・浮き上がりの接着強化処置

実施場所：酒田市美術館 「絵画収蔵庫」

(2) 収蔵庫・展示室の温湿度管理

・ 絵画収蔵庫、彫刻収蔵庫の燻蒸作業（酒田市予算で実施）

燻蒸期間：11月13日(金)～11月19日(木)

委託機関：東化研株式会社

(3) 収蔵品データベースの公開

2019年1月1日に改正された著作権法第47条「美術の著作物等の展示に伴う複製等」に基づき、寄託作品等の一部の例外を除き、著作権の失効の有無にかかわらず、収蔵作品のポジフィルムをデジタルデータに変換し、サムネイル画像を美術館HPで公開し、検索出来るようにした。

公開作品：223作品（森田茂、國領経郎、斎藤長三、高橋剛作品など）

3. 教育普及活動

(1) ワークショップの開催 「新型コロナ感染の影響により未実施」

(2) ギャラリートークの開催 「歌川広重展」開催時に来館の小中学校等に対して随時にギャラリートークを開催した。

(3) 記念講演会の開催 「新型コロナ感染の影響により未実施」

(4) ミュージアムコンサート・サイン会・その他

酒田市美術館 YouTube チャンネル「作品解説動画」全3回

期 日 7月18日(土)～ 8月30日(日)

内 容 高砂淳二写真展 -Dear Earth-

講師名 高砂淳二氏（自然写真家）

再生回数 953回（うち高評価15件）

(5) 子ども美術展の開催 「新型コロナ感染の影響により中止」

(6) 教職員視察ウィーク

酒田市内の教職員に向けて、美術館や展覧会に対する理解を深めていただくため、「教職員視察ウィーク」を実施した。本事業は、普段の授業での鑑賞学習や、校外学習での美術館利用の参考にしていただき、学校と美術館の情報交換及び連携の推進を目的とし期間中は特別展・常設展ともに観覧料を無料としている。

(1) 展覧会名 「歌川広重展」 -二つの東海道五拾三次-

期間 9月5日(土)～11日(金)

参加者 14名

(2) 展覧会名 「いわさきちひろ ピエゾグラフィ展」

期間 1月30日(土)～2月6日(土)

参加者 27名

4. 美術館PR事業

(1) 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等へ出来るだけ掲載・放送してもらうよう積極的に依頼活動をした。

(2) チラシ、ポスターによるPRにあたっては、新型コロナ感染拡大・予防のため、県内を中心に郵送にて配布した。

(3) YouTubeチャンネルを開設し、ドローンで美術館を空撮した動画を制作し美術館の景観の良さをPRした。

(4) 酒田市広報「さかた」4月1日号に特集として、「美術館の舞台裏」を取材してもらい、美術館の仕事や展覧会ができるまでの紹介をし、広く市民へ美術館の事業を知ってもらう機会となった。

5. 調査研究事業

収蔵作品、特別展の作品・作家その他に関する調査、研究

(1) 「生誕100年 國領経郎展」に向けて國領の遺品を調査し、スケッチや写真などの資料を整理し、國領の制作過程を調査した。また、その成果として、図録を制作した。

図録：「生誕100年 國領経郎展」

収録論文：「國領経郎の制作過程を探って」 学芸員 武内 治子

(2) 収蔵作品についての寄稿

①読売新聞「生誕100年 國領経郎」 全3回連載 学芸員 武内 治子

②フリーペーパー『クレードル』3月号 「特集 庄内の作家たち 斎藤長三 郷愁を誘う心象の画家」 学芸員 武内 治子

6. 美術館出前（オーダーメイド）型ゼミの実施

一般財団法人地域創造の補助採択を受けて同財団と共催で、令和元年度より2カ年計画で、近隣地域美術館・博物館の学芸員等職員を対象とした出前（オーダーメイド）型ゼミを開催し、職員の資質向上、各館相互のネットワーク形成を図った。

（1）第3回 「コレクションの活用／クラウドファンディング（資金調達）について」

講師 山下弘子 氏（坂本善三美術館 学芸員）

宮本晶朗 氏（株式会社文化財マネージメント・東北芸術工科大学講師）

奥山弥寿之 氏（荘内銀行 営業推進部地方創生室室長）

参加者 15名

7. 委託事業

当館の維持管理業務

収益事業

1. サービス提供事業

（1）観光情報の提供

酒田市観光パンフ、他館のチラシ、その他

（2）物品販売

①当館オリジナルグッズ（絵葉書、図録、マグカップ、クリアファイル、一筆箋）

②図録、所蔵作品や作者関連の書籍、展示関連グッズ

③地元出版物で、本館で販売可能と思われるもの

（3）オリジナルグッズの開発

①「佐藤真生 “夢見る金魚”」オリジナルトートバッグ、缶バッジ3種

②國領経郎 クリアファイル、絵葉書

2. 施設提供（貸館）事業

（1）市内外の美術愛好家（個人・団体）の発表の場、学習の場として、出来るだけ多く市民ギャラリーを開放するよう努めた。

（「令和2年度年度市民ギャラリー入館者集計」参照）

（2）Sakata アートマルシェ 2020 事業への貸館及び企画協力

Sakata アートマルシェ 2020

主催：酒田市、酒田市文化芸術推進プロジェクト

①いいいろいろ展 一見て！カラフルな私の世界ー

期間 9月15日（火）～27日（日）

内容 当館が収蔵している佐藤真生作品を貸出し、市内の障害者の方の作品とともに展示を検討、更に展示準備として、当館学芸員がアドバイザーとなり、福祉施設職員を対象にした展示方法のワークショップを2回開催した。

場所 当館市民ギャラリー

②ワークショップ おそとでアート！

期間 9月21日（火・祝） 全2回

内容 ①光の箱をつくろう。

②風の魚で遊ぼう

場所 美術館中庭

③ミュージアムコンサート 「風と光のコンサート」

期間 9月21日（火・祝）

出演 山形交響楽団員

場所 美術館中庭

④佐藤真生 巨大バルーン“夢見る金魚”の設置

期間 9月15日（火）～27日（日）

場所 美術館中庭

会議等に関する事項

1 評議員会及び理事会について

令和2年度の評議員会及び理事会を下記のとおり開催し、全て原案どおり同意・承認・可決された。

(1) 評議員会

① みなし決議に関する評議員会

・決議があったとみなされた日 令和2年5月25日

・案件

1（議案）理事の選任について

2（議案）評議員の選任について

② 令和2年度定時評議員会

・日時 令和2年6月28日（日）14：00～

・場所 酒田市総合文化センター 412 特別室

・案件

- 1 (議案) 令和元年度事業報告について
- 2 (議案) 令和元年度収入支出決算について
- 3 (報告事項) 令和2年度収入支出補正予算(第1号)について
- 4 (その他) 本年度特別展の変更及び令和3年度特別展の検討状況について
- 5 (その他) 財団統合について

③ 令和2年度第1回臨時評議員会

- ・日時 令和2年8月22日(土) 14:00～
- ・場所 酒田市民会館 希望ホール 小ホール
- ・案件
 - 1 (議案) 公益財団法人土門拳記念館との合併について
 - 2 (議案) 新設合併法人の定款案について
 - 3 (議案) 新設合併法人の報酬等規程について
 - 4 (議案) 公益財団法人土門拳記念館との合併契約について
 - 5 (議案) 合併による地位の承継の認可申請について
 - 6 (報告事項) 新設合併法人の事業計画について
 - 7 (報告事項) 新設合併法人の令和3年度収支予算について

④ 令和2年度第2回臨時評議員会

- ・日時 令和3年3月21日(日) 14:00～
- ・場所 酒田市民会館 希望ホール 練習室1
- ・案件
 - 1 (議案) 合併契約(契約締結後)の承認について
 - 2 (報告事項) 令和2年度収入支出補正予算(第2号)について
 - 3 (報告事項) 合併の進捗状況について
 - 4 (報告事項) 公益財団法人さかた文化財団諸規程(案)の主なポイントについて

(2) 理事会

① みなし決議に関する理事会

- ・決議があったとみなされた日 令和2年5月12日
- ・案件
 - 1 (議案) 令和2年度臨時評議員会の開催について

② 令和2年度第1回通常理事会

- ・日時 令和2年6月13日(土) 14:00～

・場所 酒田市総合文化センター 412 特別室

・案件

- 1 (議案) 令和元年度事業報告について
- 2 (議案) 令和元年度収入支出決算について
- 3 (議案) 令和2年度収入支出補正予算(第1号)について
- 4 (議案) 令和2年度定時評議員会の開催について
- 5 (報告事項) 理事長及び館長理事の職務執行状況について
- 6 (その他) 本年度特別展の変更及び令和3年度特別展検討状況について
- 7 (その他) 財団統合について

③ 令和2年度臨時理事会

・日時 令和2年7月27日(月) 14:00~

・場所 酒田市総合文化センター 412 特別室

・案件

- 1 (議案) 公益財団法人土門拳記念館との合併について
- 2 (議案) 新設合併法人の定款案について
- 3 (議案) 新設合併法人の報酬等規程について
- 4 (議案) 新設合併法人の事業計画について
- 5 (議案) 新設合併法人の令和3年度収支予算について
- 6 (議案) 公益財団法人土門拳記念館との合併契約について
- 7 (議案) 合併による地位の承継の認可申請について
- 8 (議案) 令和2年度臨時評議員会の開催について

④ 令和2年度第2回通常理事会

・日時 令和3年3月7日(日) 14:00~

・場所 酒田市民会館希望ホール 練習室1

・案件

- 1 (議案) 令和2年度収入支出補正予算(第2号)について
- 2 (議案) 令和2年度第2回臨時評議員会の開催について
- 3 (報告事項) 理事長及び館長理事の職務執行状況について
- 4 (報告事項) 合併の進捗状況について
- 5 (報告事項) 公益財団法人さかた文化財団諸規程(案)の主なポイントについて
- 6 (その他) 公益財団法人さかた文化財団令和3年度事業計画・予算について

⑤ みなし決議に関する理事会

- ・決議があったとみなされた日 令和3年3月30日
- ・案件
 - 1 (議案) 令和3年度(4月～5月)事業計画について
 - 2 (議案) 令和3年度第(4月～5月)収支予算について

2 合併調印式について

- ・日時 令和2年8月29日(土) 14:00～
- ・場所 出羽遊心館
- ・内容
公益財団法人土門拳記念館と公益財団法人酒田市美術館が新設財団「公益財団法人さかた文化財団」を設立し、両法人をそれぞれ解散する合併契約を締結した。

3 公益財団監査について

①定例監査

- ・日時 令和2年5月29日(金) 10:00～
- ・場所 酒田市美術館 館長室

②酒田市財政援助団体等監査

- ・日時 令和2年6月12日(金) 10:30～
- ・場所 酒田市美術館 館長室

③山形県公益認定等審議会立入検査

- ・日時 令和3年2月19日(金) 14:00～
- ・場所 酒田市美術館 館長室